

# ハピネス ～幸福・希望～

## 栗源病院 通所リハビリテーション

居宅介護支援事業所の皆様、ご利用者様・ご家族の皆様、いつもたくさんのご支援・ご協力誠にありがとうございます。

昨年度を振り返ると、目標に掲げた参加・活動場面の提供という事で、たくさんの作品ができました。また作品以外にも運動会など、感染対策をした上で楽しいイベントも実施できたのではないかなと思います。引き続き参加・活動という事で、今年度は入院患者様との共同作品などを企画していますので、ぜひ楽しみにしてください。

さらに、今年度は個別性に特化したリハビリの提供という事も目標に掲げました。様々な疾患や環境など、1人1人に合わせたリハビリを提供できる様、スタッフのスキルアップなど力を入れていきたいと考えておりますので、どうぞ今年度もよろしくお願い致します。

### ～スタッフの意気込み紹介 セラピスト Ver.～



栗源病院元気印の“PT 伊藤”です。  
今年度は、個別性に特化したリハビリの提供という目標なので、利用者様1人1人をしっかりと評価しプログラムの提供をすると共に、自宅のできるケアや自主トレメニューの充実を図れたらと思います。ご意見・ご要望がありましたら遠慮なくおっしゃってください！！

“PT 小池”です。  
リハビリ専門職としての知識や技術を最大限発揮しながら、一人一人の状態にあった計画を立てリハビリテーションを提供しています。ご利用者様やご家族様のお気持ちに寄り添い、在宅生活の継続や社会参加・復帰の支援などを目指して参ります。



### ～作品・活動紹介～



#### <ひなまつり>

紙皿を台として使用し、トイレットペーパーにお雛様とお内裏様を巻き付けました。  
高砂はそれぞれが好きなちりめんの布を使用し、周りの飾りなど、みなさんこだわりをもってつけていました。  
「金屏風が難しいね」「簡単だけど立派なお雛様ができたね」  
「家に飾るね」と、笑顔で感想をお話してくれました。





プラットホームに寝ると満開の桜を見上げてリハビリを受けられます。



今年は、お花紙を使ってリハビリ室に大きな桜の木を作りました。

以前は、入院患者様と車椅子で近くの桜の木まで散歩をし、お花見をしていたのですが、コロナ禍で外出等できなくなり、お花見もできなくなってしまったので、今年は「多くの入院患者様に桜を見せたい!」「せっかくなら、通所の利用者様や外来患者様にも見てもらいたい!」というスタッフの声で、入院患者様と通所リハビリご利用者様の共同作品を作る事にしました。

木の部分は段ボールに絵の具を出し、指で直接色を混ぜながら塗る“フィンガーペイント”という手法で入院患者様が色付けをしてくれました。たくさんの花は、入院患者様と通所リハビリのご利用者様が作ってくれ、特に通所のご利用者様は【宿題】と言って、自宅に持ち帰り沢山お花を作ってくれました。

また、開花・五分咲き・満開と徐々に咲いていく桜をイメージし、より季節感を味わってもらいました。

「桜はすぐ散っちゃうけど、この桜はいつまでも見れていいね〜」「いやぁ〜立派立派!」とみなさん想像以上の大作に感動されていました。



### <こいのぼり>

今年は折り紙でカブトを折り、こいのウロコに見立てました。折り紙を持ち帰り、たくさんのカブトを折って頂いたのですが「こんなに作って何にするの?」という声が聞かれ(笑)完成したこいのぼりを見ると「なるほどね。そりゃたくさん折る訳だ!!」と納得されていました。手間暇のかかった力作です!



栗源病院ならではの!!桜とこいのぼりのコラボレーションです。

